



豊浦の農業 明日への歩み

8月号で旧大岸小学校鉦山分校を利活用した地域産業連携拠点事業の概要をお知らせいたしました。今月号では、農業研修の仕組みと今年から就農された農家さんとその就農までの研修を受け入れた農家さんの声をお届けいたします。

●地域産業連携拠点施設 研修生の受け入れ

11月に地域おこし協力隊として新規就農を目指す研修生を募集しました。研修は、拠点施設で3年間、「豊浦いちご」の研修を必修科目として、その他に「あさつき」や「さやいんげん」などの作物を選択し、栽培技術を学びます。農業研修の他、地域おこし協力隊としても活動します。

【研修から就農までの流れ】

- ①研修生として、地域おこし協力隊員を町が雇用。3年間の研修を実施。
- ②3年間の研修後、農業者として認定。そのまま拠点施設でのハウスを貸付。4年目は、実践的就農をしながら、自らの独立就農の準備を行う。
- ③5年目に自らの農地で独立就農。トラクター等の機械類は、拠点施設から借りることで、初期投資額の圧縮が可能。

